

分科会

生協の「経営危機」を 多様な角度から考えてみました

分科会は、「生協にとって組合員の存在とは」「生協らしい職員の働き方とは」「生協らしい事業とは」という3つのテーマを設け、組合員、職員、生協の事業の観点から、生協の「経営危機」について考え合いました。

特別分科会は、今回も昨年に引きつづき、3.11 東日本大震災をとりあげ、「くらし方の変化と協同組合の役割」をテーマに開催しました。

当日は、コーディネータ解題のあと、研究報告と実践報告を受け、参加者とともに、「生協」を基本に据えて考え合いましたが、本号では、分科会の内容を担当コーディネータの責任でまとめました。

紙幅の制約により割愛した論点等ございますが、その点は今後の企画や研究に反映させていただくことでご容赦いただきたいと思います。

第1分科会「生協にとって組合員の存在とは？」小池恒男

第2分科会「生協らしい職員の働き方とは？」杉本貴志

第3分科会「生協らしい事業とは？」北川太一

特別分科会「3.11 東日本大震災後のくらし方の変化と協同組合の役割」浜岡政好